

令和7年度 屋内消火栓の部 競技要領

出場選手紹介

アナウンスによる出場選手紹介を行う。

開始前の隊形

【指揮者】

番員前方中央（操作位置）のイスに座り「操作開始」（審査長からの指示）の指示を待つ。

【1番員・2番員】

指揮者前方（操作位置）のイスに座り「操作開始」（審査長から指示）の指示を待つ。

操作開始

【指揮者】

審査長から「操作開始」の指示後、その場で立ち上がり、火点（的）を指差し「火災発見」と呼称、屋内消火栓の非常ベルを鳴動させ、水消火器の前に至る。その後、1、2番員に「屋内消火栓 操作始め」と号令する。（1、2番員は「よし」と呼称する。）

水消火器を携行して、ぼや2箇所（的×2）の消火作業を実施する。初期消火活動実施後、そのまま指揮位置にて、各番員の操作状況及び火点の状況を監視する。

【1番員・2番員】

1、2番員は、指揮者が非常ベルを押すと同時に席を立ちあがり、屋内消火栓の前に移動し、整列して待機する。指揮者の「屋内消火栓 操作始め」の号令に1、2番員は「よし」と呼称した後、屋内消火栓を操作する。

ホース延長

【1番員】

屋内消火栓から筒先とホースを取り出し、2個の障害物をかわしながら火点方向にホースを延長する。

【2番員】

1番員が火点方向にホースを延長する際に屋内消火栓前で、余裕ホースを確保する。

※扉の開閉は1番員・2番員どちらでもよい。

放水開始

【指揮者】

指揮位置にて、各番員の操作状況及び火点の状況を監視し、1番員が「放水始め」と呼称した後、火点方向に向きを変える。

【1番員】

放水停止線に至り、余裕ホースを取った後、筒先を構え「放水始め」と呼称した後、放水により標的を倒す。

【2番員】

1番員の「放水始め」の呼称まで屋内消火栓前で待機、1番員が「放水始め」と呼称した後開閉弁を開ける。

開放後、障害物をかわしながら、延長したホースに沿って前進し、1番員後方の注水補助位置に至り、注水補助を行う。

放水停止

【指揮者】

標的を倒した後、各番員の方に向きを変え「放水止め」と号令する。

【1番員】

指揮者の「放水止め」の号令後、「放水止め」と復称し、2番員が「停水よし」と呼称した後、筒先を置き、基本の姿勢で待つ。

【2番員】

1番員の「放水止め」の復称後、ホースを置き、障害物をかわしながら、延長したホースに沿って屋内消火栓まで至り、開閉弁を閉める。閉止後に「停水よし」と呼称し、基本の姿勢で待つ。

集合

【指揮者】

1、2番員の操作完了（基本の姿勢）を確認後、「集合位置に集まれ」と号令し、最短距離で指揮位置へ戻る。

【1番員・2番員】

指揮者の「集合位置に集まれ」の号令後、最短距離で集合位置に戻り、基本の姿勢で待機する。

訓練終了報告

【指揮者】

指揮位置で集合線の番員を整列させ、「右へならえ」の号令をかけ「なおれ」の号令後、回れ右をし、答礼者の手前に進み敬礼をした後、「〇〇事業所屋内消火栓操法を終了しました。」と報告する。

報告後、回れ右をして最初の指揮位置にもどり、「わかれ」の号令で訓練が終了となる。

【1番員・2番員】

指揮者の「わかれ」の号令で指揮者に対し敬礼を行う。

< 審 査 >

- (1) 競技要領に基づく審査により減点方式とし、減点は審査表に従い所要時間に加算するものとする。※「安全・確実・迅速」のうち、「安全と確実」を重視します。
- (2) タイムは、指揮者の「屋内消火栓 操作始め」に対する2番員の「よし」の「し」から2基の標的が倒れた時点とする。